令和８年度　東郷町立兵庫小学校　第２回学校運営協議会　議事録

日時：令和８年９月17日（木）
10時00分から11時15分まで
場所：東郷町立兵庫小学校

１　開会の言葉（進行：教頭）
兵庫小学校教頭：林先生より開会の言葉

２　校長あいさつ
兵庫小学校校長：高木先生よりあいさつ

３　議事

⑴　地域学校協働活動推進員の承認について

第１回の教育委員会等での提案を受け、岩崎氏が地域学校協働活動推進員（コーディネーター）として正式に引き受けることが確認された。全委員の承認を得て、岩崎氏の就任が正式に決定した。

⑵　CS 全体研修会報告について

先月行われたコミュニティ・スクール（CS）研修会について、参加した委員３名（教頭、佐々木委員ほか）からそれぞれ感想と報告がなされた。地域の方と学校が一緒になって子どものために何ができるかを真剣に考えている姿に大変感銘を受け、今後の活動に活かしていきたいとの意見が共有された。

⑶　児童の活動の様子について

教頭より、今年度のこれまでの児童の活動の様子が写真とともに報告された。

⑷　地域とかかわる事業について

太田委員より、４年生の総合的な学習の時間と地域の自主防災組織とのコラボ授業について詳細な説明と協力依頼がなされた。

ア　実施背景

昨年度から兵庫小学校区において、防災や避難に関する意識共有が進められ、地域と学校が一体となった「学校避難所運営会議」が立ち上がっている。今年度もその一環として、４年生の総合的な学習の中で地域の自主防災組織とのコラボ授業を実施する。

イ　授業の主な内容（予定）

(ｱ)　児童へのアンケート実施

在宅避難に向けた各家庭の備蓄状況や防災への意識調査を事前に行い、地域における防災意識の現状を把握する。

(ｲ)　備蓄倉庫の見学と避難所体験

子どもたちが実際に学校の備蓄倉庫を見学し、避難所開設キット（ダンボールベッドの設置など）を実際に組み立てることで、避難生活の様子をリアルに体験する。

(ｳ)　備蓄食料の重量・量の実感

３日分の備蓄食料の実物を子どもたちに見せ、どれくらいの量になるのかを実際に

目で見て実感してもらう。

(ｴ)　グループ討議（熟議）

学校運営協議会（避難所運営会議）のメンバーや地域の防災関係者が各グループに入り、子どもたちの感想を聞き取り、「こうした方が良い」といった意見交換を行う。

ウ　実施日時

日時：１１月９日（月）午前中

授業時間：子どもたちの授業時間や休憩時間を考慮し、約 70 分間を想定している。

保護者の参加形態や当日の詳細なスケジュールについては、学年主任とすり合わせを行う。

⑸　各種ボランティアについて

学校より、ボランティアの募集状況と今後の計画について説明がなされた。

ア　下校見守りボランティア

チラシを作成し、地域の回覧板や店舗等を通じて広く募集を行う。登録手続きには e-message を活用するほか、登録用紙をコミセンに設置することとなった。

イ　昔遊びボランティア（１年生対象・１月実施予定）

老人クラブ等への協力依頼を通じて、ボランティアを募る方向で調整を進めている。

ウ　読み聞かせボランティア：

現在、２名のボランティアが継続して活動している。

４　連絡事項

次回の運営協議会開催に向けた案内や、今後のスケジュールについて確認が行われ、閉会となった。